

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2015年8月6日から2022年8月8日まで	
運用方針	ファミリーファンド方式により、安定的な収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	「世界金融機関ハイブリッドマザーファンド」の受益証券。
	世界金融機関ハイブリッドマザーファンド	国内外の主要金融機関が発行したユーロ建て・米ドル建ての優先出資証券、劣後債等。
主な組入制限	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・マザーファンド受益証券への投資割合は、制限を設けません。 ・株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・投資信託証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・優先出資証券および劣後債への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資は制限を設けません。
	世界金融機関ハイブリッドマザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ・優先出資証券、劣後債への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	年1回(原則として毎年8月6日。ただし、休業日の場合は翌営業日とします。)決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。原則として毎決算日に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、収益分配を行わないことがあります。	

CAM世界金融機関 ハイブリッド・ファンド (為替ヘッジあり)

追加型投信／内外／資産複合

運用報告書(全体版)

第3期

決算日：2018年8月6日

作成対象期間：2017年8月8日～2018年8月6日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼を申し上げます。さて、「CAM世界金融機関ハイブリッド・ファンド(為替ヘッジあり)」は、2018年8月6日に第3期の決算を行いました。ここに、期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区神田錦町一丁目16番1号いちご神田錦町ビル5階
< お問い合わせ先 >

【電話番号】 03-5259-7401

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

【ホームページ】 <http://www.capital-am.co.jp/>

◆ 設定以来の運用実績

決算期	(分配落)	基準価額		債券組入比率	純資産総額
		税込分配金	期中騰落率		
(設定日)	円	円	%	%	百万円
2015年8月6日	10,000	—	—	—	2
1期(2016年8月8日)	9,837	0	△ 1.6	92.1	139
2期(2017年8月7日)	9,950	0	1.1	81.9	70
3期(2018年8月6日)	9,318	0	△ 6.4	86.3	18

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 基準価額は1万円当たり。(基準価額の全てに共通)

(注3) 純資産総額は単位未満切捨て、騰落率と組入比率は小数第2位を四捨五入しています。

(注4) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

◆ 当期中の基準価額と市況等の推移

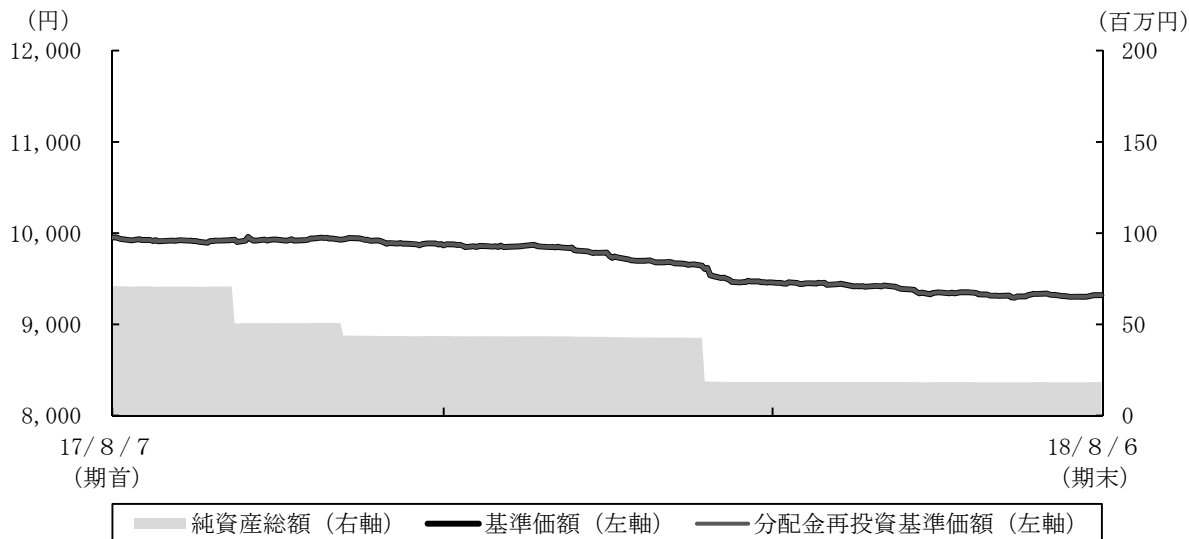
年月日	基準価額		債券組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2017年8月7日	9,950	—	81.9
8月末	9,919	△ 0.3	85.2
9月末	9,916	△ 0.3	78.9
10月末	9,931	△ 0.2	91.5
11月末	9,883	△ 0.7	85.3
12月末	9,846	△ 1.0	87.8
2018年1月末	9,782	△ 1.7	86.3
2月末	9,684	△ 2.7	84.5
3月末	9,469	△ 4.8	62.0
4月末	9,433	△ 5.2	63.2
5月末	9,340	△ 6.1	78.2
6月末	9,311	△ 6.4	79.3
7月末	9,302	△ 6.5	82.9
(期末)			
2018年8月6日	9,318	△ 6.4	86.3

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

◆ 運用経過の説明 ◆

● 基準価額の推移 (2017年8月8日～2018年8月6日)



第3期首：9,950円

第3期末：9,318円 (当期分配金0円)

騰落率：△6.4% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

● 基準価額の主な変動要因 (2017年8月8日～2018年8月6日)

当期の基準価額の変動要因としましては、組み入れている米ドル建てハイブリッド証券の価格変動とインカム収入により-1.9%、ユーロ建てハイブリッド証券では-0.6%でした。

また、為替要因として、為替変動リスクの低減をはかるため、米ドル・ユーロ売り/円買いの為替ヘッジを行った結果、当期は米ドル/円において-3.0%、ユーロ/円では+0.1%基準価額を変動させることになりました。

この他に、中途解約に伴う信託財産留保金、信託報酬支払等が基準価額に影響を与えています。

※ ハイブリッド証券とは、優先出資証券、劣後債等を指します。

● 投資環境 (2017年8月8日～2018年8月6日)

(債券市場)

米国債券市場における指標銘柄の国債10年物利回りは期初の時点では2.25%でした。その後は好調な米国経済を背景に米国連邦準備制度理事会(FRB)による利上げが2017年12月以降、2018年3月・6月の計3回実施されたことを受け、長期金利は基本的には上昇が続き、4月と5月には節目と見られていた3%を超える水準まで金利上昇となりました。しかしその後はトランプ政権による大規模な輸入関税適用によるグローバルな貿易摩擦の高まりが景気に及ぼす悪影響が懸念されたことを受け、“リスクオフ”による債券買いの動きとの綱引きにより一本調子の金利上昇は続かず、レンジ内の動きが続き、2.95%で期末を迎えました(期中70bpの上昇)。

欧州債については、ドイツ10年国債の利回りは期初においては0.47%でした。欧州中央銀行(ECB)による強力な金融緩和の効果から、EU域内の景気は基本的には好調を続け、“リスクオン”から株式買い、債券売りの流れとなり、2018年2月には0.77%まで金利上昇となりました。しかしその後は反EU派政権がイタリアやスペインで成立するなど“リスクオフ”への揺り戻しから金利低下が続き、いわゆる“行って来い”の展開となり、0.41%(期中6bpの低下)で期末となりました。

ハイブリッド証券市場につきましては、期初においては全般に横ばいの状況が続きましたが、2018年に入ると初回コール日が近づく銘柄が額面価格に向けて価格低下すると共に、いわゆる“適温相場”の終了を受けたグローバル株式市場の波乱を受けて、その他の銘柄も含めたハイブリッド証券市場全般も弱含みの展開が続きました。

※ 1bp (basis point、ベースポイント) = 0.01%

(為替市場)

当期を通じて、米ドル/円、ユーロ/円ともに基本的にはレンジ内の動きが続きました。2017年中は金融正常化で先行する米国の利上げを受けて、米ドル高/円安となり、ユーロについても2018年2月までは円安の流れが続きました。しかし、その後は南欧における反EU派政権の成立を受けてユーロが売られ、対米ドルでもグローバルな貿易摩擦の高まりを受けた“リスクオフ”の円買いの動きを受け、米ドル・ユーロ安/円高となり、両通貨共に“行って来い”となり、特にユーロについては期末に掛けても大きく売られて円高に振れました。

当期末の米ドル/円は111.24円で期中0.4%の円安、ユーロ/円は128.59円で期中1.6%の円高となりました。

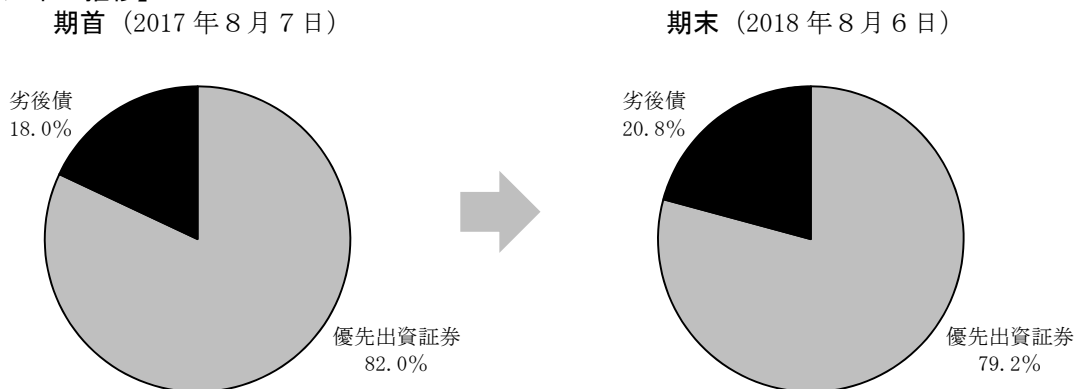
● 当該投資信託のポートフォリオ (2017年8月8日～2018年8月6日)

前期に引き続き、世界金融機関ハイブリッドマザーファンドを通じて米ドル建て、ユーロ建てハイブリッド証券に投資を行いました。

銘柄につきましては、主としてファースト・コール日が近づき、最終利回りの低下した銘柄（バンク・オブ・アメリカ、ウェルスファーゴ等の米ドル建て優先出資証券等）を売却しました。一方、組入比率の上昇を意図してゴールドマン・サックスの優先出資証券等を買付けました。

当作成期末の世界金融機関ハイブリッドマザーファンドのポートフォリオは、米ドル建てハイブリッド証券を10銘柄で純資産比83.4%、ユーロ建てハイブリッド証券を1銘柄、8.6%、合計では11銘柄、91.9%の組み入れとなっています。

【種類別比率の推移】



※マザーファンドにおけるポートフォリオに対する比率です。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

● 分配金

分配原資、基準価額水準等を勘案し、当期の収益分配は見送らせていただきました。
留保益は、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用します。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

	第3期
	2017年8月8日～ 2018年8月6日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	332

(注1) 当期の収益は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、当期の収益以外は収益調整金および分配準備積立金です。

(注2) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税引前)と一致しない場合があります。

◆ 今後の運用方針 ◆

足下の世界経済情勢は、米国では堅調な景気動向を背景とした利上げが継続し、欧州でも年内での資産買入プログラムの終了が決定され、一見すると金融政策の正常化に向けて着実に進展しているように見受けられます。但し、米国トランプ政権による貿易不均衡是正を目的とした大規模な輸入関税導入は中国等による報復関税を招き、グローバルな貿易摩擦の高まりにより、市場ボラティリティが上昇、新興国市場からの資金流出も見られ、不安定な相場展開となっております。FRBは堅調な景気指標を背景に、引続き年内後2回の利上げを想定していますが、市場参加者によっては2019年後半には景気後退に突入するのではないかという見方も出始めており、予断を許さない状況です。

欧州では、英国のEU離脱交渉は難航しており、反EU派の連立政権が樹立したイタリア、不信任案による首相交代となったスペイン等、ユーロ安に繋がりやすい政治状況が続いています。ECBは年内の資産買入プログラムの終了を決定しましたが、域内のインフレ率上昇は鈍く、同時に発表されたフォワード・ガイダンスでは2019年の“夏が終わるまでは”金利を低く保つという慎重な姿勢を継続しております。

ハイブリッド証券市場は、グローバルな貿易摩擦の高まりによる市場の波乱を受けて、全般的には弱い展開が続いています。新規の発行が余り見られない中、ファースト・コール日に償還されない銘柄が変動金利に移行する例が出始めており、相対的な価格の安定性から一定の投資家需要が見受けられるようです。

当ファンドにおきましては、引き続き世界金融機関ハイブリッドマザーファンドの組み入れを高位に保ってまいります。また、マザーファンドにおきましては、現状のポートフォリオをベースにハイブリッド証券の特性を活かした高い直接利回りを維持しつつ、より有利な利回りの確保を行えるよう投資銘柄の選別と分散を実施していく方針です。

◆ 当期中の1万円(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	172円	1.777%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率です。 なお、期中の平均基準価額は9,668円です。
(投 信 会 社)	(62)	(0.646)	・ 委託した資金の対価
(販 売 会 社)	(104)	(1.077)	・ 運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後のアフターフォローの対価
(受 託 会 社)	(5)	(0.054)	・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	216	2.238	(b) その他費用は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(監 査 費 用)	(88)	(0.914)	・ 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(保 管 費 用)	(26)	(0.264)	・ 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(102)	(1.060)	・ 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	388	4.014	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 「比率」欄は「1万円当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

◆ 期中の売買及び取引の状況(2017年8月8日から2018年8月6日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
世界金融機関ハイブリッドマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 51,256	千円 50,000

(注) 単位未満は切捨て。

◆ **主要な売買銘柄**(2017年8月8日から2018年8月6日まで)

世界金融機関ハイブリッドマザーファンドにおける公社債の売買

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
アクサ 3.375 07/06/47	14,289	三井住友FG 9.5 07/29/49	24,868
三井住友FG 9.5 07/29/49	14,211	JPモルガン・チェース	24,340
ウェルズ・ファーゴ 5.9 12/29/49	11,694	ドイツバンク 8 05/29/49	20,168
ゴールドマンサックス 5.3 12/29/49	11,429	アクサ 6.463 12/29/49	17,423
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 4.5 12/29/49	11,261	バンク・オブ・アメリカ 8.000 07/29/49	16,661
JPモルガン・チェース	11,011	ウェルズ・ファーゴ 7.98 03/29/49	16,535
アクサ 6.463 12/29/49	10,879	パークレイズ 4.75	15,895
HSBC 10.176 12/29/2049	5,445	モルガン・スタンレー 5.45 07/29/49	14,778
		アクサ 3.375 07/06/47	13,835
		BNP パリバ 7.195 06/29/49	13,229

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

◆ **利害関係人との取引状況等**(2017年8月8日から2018年8月6日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◆ 組入資産の明細 (2018年8月6日現在)

親投資信託残高

種 類	期 首 (前 期 末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
世界金融機関ハイブリッドマザーファンド	千口 68,794	千口 17,538	千円 17,165

(注) 単位未満は切捨て。

◆ 投資信託財産の構成 (2018年8月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
世界金融機関ハイブリッドマザーファンド	千円 17,165	% 90.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,746	9.2
投 資 信 託 財 産 総 額	18,911	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、8月6日における邦貨換算レートは、1米ドル=111.24円、1ユーロ=128.59円です。

(注3) 世界金融機関ハイブリッドマザーファンドにおいて、当期末における外貨建資産(118,297千円)の投資信託財産総額(119,157千円)に対する比率は、99.3%です。

◆ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年8月6日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	33,424,024円
コール・ローン等	1,746,108
世界金融機関ハイブリッド マザーファンド(評価額)	17,165,185
未 収 入 金	14,512,731
(B) 負 債	15,145,294
未 払 金	14,781,680
未 払 信 託 報 酬	201,614
そ の 他 未 払 費 用	162,000
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	18,278,730
元 本	19,616,503
次 期 繰 越 損 益 金	△ 1,337,773
(D) 受 益 権 総 口 数	19,616,503口
1万口当り基準価額 (C / D)	9,318円

<注記事項>当運用報告書作成時点では、監査未了です。

(注) 期首元本額	71,262,017円
期中追加設定元本額	413,409円
期中一部解約元本額	52,058,923円

◆ お知らせ ◆

該当事項はありません。

◆ 損益の状況

当期：自2017年8月8日 至2018年8月6日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 1,562円
受 取 利 息	1,218
支 払 利 息	△ 2,780
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	140,321
売 買 益	3,003,990
売 買 損	△ 2,863,669
(C) 信 託 報 酬 等	△ 1,365,863
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 1,227,104
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	193,264
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 303,933
(配 当 等 相 当 額)	(57,056)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 360,989)
(G) 合 計 (D + E + F)	△ 1,337,773
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△ 1,337,773
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 303,933
(配 当 等 相 当 額)	(58,364)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 362,297)
分 配 準 備 積 立 金	592,986
繰 越 損 益 金	△ 1,626,826

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

世界金融機関ハイブリッドマザーファンド

運用報告書

第 3 期

(決算日：2018年8月6日)

(作成対象期間：2017年8月8日～2018年8月6日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限（設定日：2015年8月6日）
運用方針	信託財産の安定した収入の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
主な運用対象	国内外の主要金融機関が発行した米ドル建て・ユーロ建ての優先出資証券、劣後債等
主な投資制限	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 優先出資証券、劣後債への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

◆ 設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組入比率	純 資 産 総 額
		期 中 騰 落 率		
(設 定 日) 2015年8月6日	円 10,000	% —	% —	百万円 26
1 期 2016年8月8日	8,461	△15.4	98.6	313
2 期 2017年8月7日	9,775	15.5	86.4	276
3 期 2018年8月6日	9,787	0.1	91.9	119

(注1) 基準価額は1万円当たりです。(基準価額の全てに共通)

(注2) 純資産総額は単位未満切捨て、騰落率・組入比率は小数第2位を四捨五入しています。

(注3) 適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

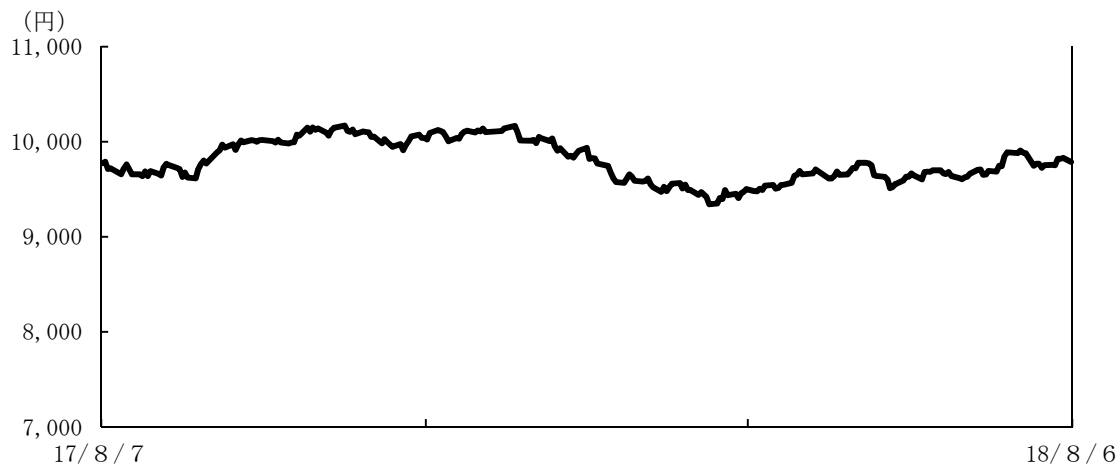
◆ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組入比率
		騰 落 率	
(期 首) 2017年8月7日	円 9,775	% —	% 86.4
8月末	9,768	△ 0.1	89.6
9月末	9,994	2.2	82.1
10月末	10,063	2.9	81.8
11月末	10,005	2.4	91.1
12月末	10,100	3.3	92.7
2018年1月末	9,833	0.6	93.0
2月末	9,613	△ 1.7	92.2
3月末	9,438	△ 3.4	69.0
4月末	9,656	△ 1.2	68.6
5月末	9,525	△ 2.6	85.4
6月末	9,664	△ 1.1	85.2
7月末	9,753	△ 0.2	88.3
(期 末) 2018年8月6日	9,787	0.1	91.9

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 騰落率・組入比率は小数第2位を四捨五入しています。

◆ 基準価額の推移 (2017年8月8日～2018年8月6日)



◆ 1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当 期
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用 等)	28円 (28)
合 計	28

(注) 費用項目の概要及び注記については、6頁の費用明細をご参照下さい。

◆ 期中の売買及び取引の状況(2017年8月8日から2018年8月6日まで)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	米ドル建て	アメリカ	優先出資証券	千米ドル
			劣後債	千米ドル
国	ユーロ建て	フランス	劣後債	千ユーロ
			劣後債	千ユーロ
		その他	優先出資証券	千ユーロ

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

◆ 主要な売買銘柄(2017年8月8日から2018年8月6日まで)

公社債

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
アクサ 3.375 07/06/47	14,289	三井住友FG 9.5 07/29/49	24,868
三井住友FG 9.5 07/29/49	14,211	JPモルガン・チェース	24,340
ウェルズ・ファーゴ 5.9 12/29/49	11,694	ドイツバンク 8 05/29/49	20,168
ゴールドマン・サックス 5.3 12/29/49	11,429	アクサ 6.463 12/29/49	17,423
バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 4.5 12/29/49	11,261	バンク・オブ・アメリカ 8.000 07/29/49	16,661
JPモルガン・チェース	11,011	ウェルズ・ファーゴ 7.98 03/29/49	16,535
アクサ 6.463 12/29/49	10,879	パークレイズ 4.75	15,895
HSBC 10.176 12/29/2049	5,445	モルガン・スタンレー 5.45 07/29/49	14,778
		アクサ 3.375 07/06/47	13,835
		BNPパリバ 7.195 06/29/49	13,229

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

◆ 利害関係人との取引状況等(2017年8月8日から2018年8月6日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◆ 組入資産の明細(2018年8月6日現在)

(A)外国(外貨建)公社債の種類別開示

区 分	額面金額	当 期 末							
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
米 ド ル 建 て	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%	
	アメリカ	856	892	99,332	83.4	—	83.4	—	—
	小 計	856	892	99,332	83.4	—	83.4	—	—
ユ ー ロ 建 て	千ユーロ	千ユーロ							
	そ の 他	80	79	10,229	8.6	—	8.6	—	—
	小 計	80	79	10,229	8.6	—	8.6	—	—
合 計	—	—	109,561	91.9	—	91.9	—	—	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売相場場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) 一印は組入れなし。

(B)銘柄別開示

銘柄	種類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		%	千米ドル	千米ドル	千円	
アクサ 6.463 12/29/49	劣後債	6.4630	100	99	11,040	—
BNP パリバ 7.195 06/29/49	劣後債	7.1950	100	105	11,735	—
BK 4.5 12/29/49	優先出資証券	4.5000	100	95	10,651	—
シティグループ 5.95 12/29/49	優先出資証券	5.9500	55	55	6,202	—
シティグループ 6.3 12/29/49	優先出資証券	6.3000	40	40	4,555	—
ゴールドマン・サックス 5.3 12/29/49	優先出資証券	5.3000	100	99	11,068	—
HSBC 10.176 12/29/2049	優先出資証券	10.1760	61	91	10,220	—
JP モルガン・チェース	優先出資証券	5.8088	100	101	11,251	—
モルガンスタンレー 5.45 07/29/49	優先出資証券	5.4500	100	101	11,304	—
ウェルズ・ファーゴ 5.9 12/29/49	優先出資証券	5.9000	100	101	11,301	—
小 計			856	892	99,332	
ユーロ(その他)			千ユーロ	千ユーロ		
パークレイズ 4.75	優先出資証券	4.7500	80	79	10,229	—
小 計			80	79	10,229	
合 計					109,561	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 銘柄の()内は、発行通貨の国名を記載しています。ただし、ユーロの場合は発行地または上場取引所の国/地域に基づき分類された国名を記載しています。うち、ユーロ圏以外の発行地または上場取引所の国/地域の銘柄については、「ユーロ(その他)」としています。

(注4) 償還年月日の「—」は永久債です。

◆ 投資信託財産の構成 (2018年8月6日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	109,561	91.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	9,595	8.1
投 資 信 託 財 産 総 額	119,157	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、8月6日における邦貨換算レートは、1米ドル=111.24円、1ユーロ=128.59円です。

(注3) 当期末における外貨建資産(118,297千円)の投資信託財産総額(119,157千円)に対する比率は、99.3%です。

◆ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年8月6日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	122,494,584円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	8,676,800
公 社 債 (評価額)	109,561,875
未 収 入 金	3,350,700
未 収 利 息	905,209
(B) 負 債	3,336,900
未 払 金	3,336,900
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	119,157,684
元 本	121,756,382
次 期 繰 越 損 益 金	△ 2,598,698
(D) 受 益 権 総 口 数	121,756,382口
1万口当り基準価額 (C / D)	9,787円

<注記事項>

- (1) 期首元本額 282,657,454円
 期中追加設定元本額 5,161,557円
 期中一部解約元本額 166,062,629円
- (2) 期末における元本の内訳
 CAM世界金融機関ハイブリッド・ファンド(為替ヘッジあり)(3ヶ月決算型) 71,484,970円
 CAM世界金融機関ハイブリッド・ファンド(為替ヘッジなし)(3ヶ月決算型) 1,054,144円
 CAM世界金融機関ハイブリッド・ファンド(為替ヘッジあり) 17,538,761円
 CAM世界金融機関ハイブリッド・ファンド(為替ヘッジなし) 31,678,507円

◆ お知らせ ◆

該当事項はございません。

◆ 損益の状況

当期：自2017年8月8日 至2018年8月6日

項 目	当 期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	8,492,347円
受 取 利 息	8,496,334
支 払 利 息	△ 3,987
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 6,578,727
売 買 益	3,725,461
売 買 損	△ 10,304,188
(C) 信 託 報 酬 等	△ 448,944
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	1,464,676
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 6,364,446
(F) 解 約 差 損 益 金	2,462,629
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 161,557
(H) 合 計 (D + E + F + G)	△ 2,598,698
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	△ 2,598,698

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。